

令和２年度 第１回河南町総合教育会議 議事要旨

開催日時 令和２年７月３１日 午前１１時００分～午後０時００分

開催場所 河南町役場 ３階３０１・３０２会議室

出席委員 町長 森田 昌吾
教育長 新田 晃之
委員 西川 幹雄
委員 行待 彩子
委員 藤原 充

(町職員出席者)

教・育部長 湊 浩
教・育部副理事 城者 貴典
教育課長 中海 幹男
こども１ばん課長 田中 啓之

(事務局)

総合政策部長 辻本 幸司
秘書企画課長 池添 謙司
秘書企画課課長補佐 森口 竜也
秘書企画課係長 上野 舞

傍聴者 なし

１ 開会

(森口秘書企画課長補佐)

本日は、お忙しい中、令和２年度第１回河南町総合教育会議に、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

……会議の公開について確認・・・公開とする

……傍聴者確認・・・なし

それでは、令和２年度第１回河南町総合教育会議を始めさせていただきます。まず初めに、配布資料の確認をさせていただきます。

……配布物確認

不足の資料はございませんでしょうか。

それでは、お手元の次第に沿って進行させていただきます。

まず始めに、森田町長からご挨拶申し上げます。

2 町長挨拶

(森田町長)

皆さんこんにちは。令和2年度に入りまして、新型コロナウイルス感染症対策などにより本日が総合教育会議の1回目となりました。開催にあたりまして、一言ご挨拶させていただきます。

教育委員会の皆様には日頃から本町の教育の充実発展にご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

私、個人ごとでございますが本年3月の選挙におきまして多くの住民の方々のあたたかいご支援をいただき町長となり、改めてその重責を担うことに身の引き締まる思いです。

ただ、新型コロナウイルスの感染は一時は緊急事態宣言が発せられ感染の抑制がなっていました。今現在爆発的に一日全国で1,000人を超える状況になって参りました。社会経済活動の状況と感染対策の両立を進めていかないといけない。8月から府におきましては今までの3密対策をやって感染の拡大防止に努めていただくという形をお願いしておったんですけども、昨日新型コロナウイルス感染症本部会議を開きまして、本町におきましても大阪府と同様に5人以上の会食宴会等については自粛していただくというか控えていただくような形でアナウンスしていきたい、後は、3密対策とイベント等につきましても5,000人という基準があるのですが本町において5,000人という、なかなかそういう状況ありませんので、やはりまあ収容人数が半分以下となるように、そのような対策も含めて主催者というか町も含めて感染対策を行った上での対応をしていくという形で、中止するイベント等もございますけども住民の皆さんにお願いしていきたいと思っております。

それから、学校が長期休業に入って今は再開しているんですけども、普通教室にはエアコン・クーラーが完備してるんですけども、体育館にはエアコンがなく、昨日、移動式クーラーを小学校の方に2台ずつ設置しまして、先生にお話しききますと湿度がすごく下がると、気温については体育館は広いのでそこまでのものがむずかしい。そういったところの環境の改善を少しずつやっていけると思っています。来週には中学校、子ども園の体育館にも設置する予定とで進めさせていただいております。子どもたちが熱中症にならないような対策を施しながら、授業の方を進めていただけたらと思っております。

町の方で6月30日に議会の方の臨時会議を開きまして、新型コロナウイルス感染症対策第3弾という予算を行いました、第3弾でございますけれども経済的な支援として国の10万円の給付があるんですけど、それが4月27日に住民票のある方とそういう限定があります。その後にお生まれになった赤ちゃん、妊婦の方含めて家族の方もご苦労があるということで、子育て応援特別給付ということで、今年度中に生まれた、来年3月31日

までに生まれた子に10万円お渡しすると制度設計というからお知らせする方向で進めております。これからも生まれる子には10万円を給付するという形で進めさせていただきたいと思っております。高校生に3万円のクオカードの給付、これは来月に入りましたら、なんとかできると思っております。そのような形で進めさせていただいて、なんとか新型コロナウイルス感染症を乗り切っていきたいと思っておりますので、ご協力またよろしくお願い致します。

梅雨が開けますと、夏がやってきます、暑い夏がやってきますけれど、Withコロナということで新しい生活様式を皆様にしていただいて、マスク着用とか、あとですね3密を避ける、それから熱中症対策としては水分補給とかそういうようなものも含めましてお願いしていきたいと思っております。

本日は短い時間でございますけれども、教育の皆さんとご協力申しあげまして、この会議がスムーズに進みますようによろしくお願いいたします、ということで、冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(森口秘書企画課長補佐)

これからの議事進行につきまして、河南町総合教育会議運営要綱第5条に基づき、町長に議長を務めて頂きます。森田町長よろしくお願いいたします。

(森田町長)

それでは、会議を進めさせていただきます。次第に沿って進めさせていただきたいと思えます。

議題(1)「河南町教育大綱について」、議題(2)「令和2年度における教育関連の主な事業について」、議題(3)「新型コロナウイルス感染症対策について」ですけれども、関連するところが多いと思いますので、全て一括して説明を求めたいと思います。よろしいでしょうか。

(一同)

異議なし

(森田町長)

それでは事務局より、説明をお願いします。

3 議題

○ 議題（１） 河南町教育大綱について、議題（２） 令和２年度における教育関連の主な事業について、議題（３） 新型コロナウイルス感染症対策について

（池添秘書企画課長）

資料１ 河南町教育大綱

資料２ 令和２年度 教育関連主要事業、

資料３ 新型コロナウイルス感染症対策事業

……議題１から３（資料１から３）までを説明

<質疑応答>

（森田町長）

教育大綱については、去年色々ご議論いただいて協議が整い、策定したものです。教育大綱については、この方針で進めて特にご異論ないということでご理解させていただいてよろしいでしょうか。

（一同）

異議なし。

（森田町長）

次に資料２、３について一括して説明あったんですけど教育について、教育は人づくりということで私も力をいれていくという方針に全く変わりはありません。ただ、今年については、新型コロナウイルス感染症の関係もありますので、その辺り重点的にさせていただいておりますので。意見ありましたらよろしくおねがいします。

（藤原委員）

令和２年度教育関連主要事業の一番目の予算措置が一番大きい１億１，７４４万円、小・中学校ＧＩＧＡスクール構想事業について２点お聞きしたいのですが。

このコロナ禍が起こってから、我が国日本というものは、東南アジア諸国連合のＡＳＥＡＮにも劣るネット環境であることは歴然としました。シンガポールとか、インドネシアには明らかに負けております、はっきり言って。今回非常に大きい予算措置で私たちも嬉しいのですが、まず、私たちビジネスの世界では対面しないで東京都の本店と会議どんどんやっています。その手段が皆さんご存じのＺｏｏｍやＷｅｂｅｘを使いながらやっていますが、Ｗｉ－Ｆｉ環境でないとすごい通信費がかかります。その中でＧＩＧＡスク

ール構想の通信ネットワークを一体的に整備するとありますが、これはW i - F i 環境を構築するという前提でいいのか、まずその質問が1 点目です。

もう1 点は、全家庭に体制が整備されるタイムスケジュールを教えてください。この2 点となります。

(中海教育課長)

そうしましたら、1 点目のネットワークについてW i - F i の話は当然ございます、当然W i - F i で進めています。

今のG I G A スクール構想についてはどのような形で進めるかは大きく2 つあります。まず、1 つ目が端末の整備、2 つ目がネットワークの整備となります。

現在、小・中学校ではネットワーク環境は整備されておりますが、その中の有線が旧のカテゴリとなっており今は新しい6 A というカテゴリへの入れ替えをします。それが一つ。それと今5 G (ファイブジー) が世の中進んでいますので、5 年間継続しますが、5 年先を見据えてこのネットワークをこのままやる方がいいのか、5 年先を見据えてどのようにやった方がいいのかというのを、業者と詰めている段階です。

端末につきましては教職員が委員となっている情報教育推進委員会があります。校長や教頭が教職員の代表として、我々教育委員会の事務局も入って委員会をやっているんですが、G I G A スクール構想は国の方から3 つのO S の設定がありまして、W i n d o w s 、アイパッドのi p a d O S とG o o g l e のC h r o m e (クローム) の3 つ、まずこのO S を選ばないといけないので、教職員の推進委員の方で色々と資料を見ていただきながら、最終決定いただいたのがC h r o m e で今進んでいます。国の方の補助金につきましては、端末1 台4 万5 千円で、これは消費税込みで入っておりますが、単純に入札してしまうと、それぞれの、C h r o m e でも、どこそこの会社であればソフトウェアがサービスで使えますということなどがありますことから、事務局レベルですが、プロポーザル方式、いわゆる提案型で最終決定する方向となっております。これは近隣市町村また他府県を調査しますと、入札に適さないとプロポーザルでやっているのが多いんでというところで提案型でやっていきたいと思っています。

家庭とのつながりの話は、5 月の段階で保護者の方にアンケート調査をしております。大半の家に通信は当然あるのですが、新型コロナウイルス感染症が落ちついて冷静になったときに、(親から見て) 私の端末を貸すのはちょっとと、子ども用に使用できるかという抵抗のある家庭もあります。家でも一気に整備をやったとしても、教職員がついていきません。聞いているところだと、北摂の方ではニュースで、オンライン授業の報道を行い

ましたが、実際には保護者も非常に期待したけど、ホームページを見に行ったらユーチューブで見ただけだと保護者が非常にがっかりしたとのニュースがありました。

そういったことも含めてまず教職員がパソコンを使っていわゆるリモートでどのように授業をできるかもそれを整えた段階で、今度は家庭の方をどうするかと、いうのをやらないと本来の授業は出来ないというように思います。

委員の方は会社の方でリモートで会議等しておりますが、そういったことに教職員が慣れておりません。

子どもたちにもいろんな負荷もあるということで、そういったことも含めて情報教育委員会では調査してほしいとしておりますので、今後の課題と認識しております。以上です。

(森田町長)

Wi-Fiは役所の庁舎も今、有線であり、今回新型コロナウイルス感染症の関係で非接触型の対応をするとか、他の部署との会議、回線を使った会議があまりできない状態であったので、今回の新型コロナウイルス感染症の関係で庁舎のほうでもWi-Fiにするとのことで、6月の補正予算で決めまして、皆さん非接触で慣れていただくと、すべての人に慣れていただくというと、子どもさんからお年寄りまでずっといらっしゃいますので難しい点はあるんですけども、少しでもそういった形になればと進めていきたいと思っています。

(藤原委員)

もう1点、上から4番目の、私勉強不足で非常に申し訳ないのですが、教育関連事業の4番目の、長寿命化計画策定事業について、その下読むと維持管理を着実に推進する意味が抽象的でよく分からない、維持管理を着実にやる具体的な事業内容って何ですか。

(中海教育課長)

この長寿命化計画これにつきましては、これも補正対応させていただいた分になるのですが、それぞれ物を建てますと、当然劣化していきます。通常そのままほっておきますと、40年50年といった形で悪くなっていきます。当然、建物の中身や設備もあります、そういったものをいわゆる無作為に修繕していくのではなく、適切な時期に何をどのような形で整備していくか、歯で考えますととことんまで悪くなると、復活ができなくなる、虫歯になってしまう、定期的にやりますと、治療費も安く長持ちするというような形になります。

これを建物に置き換えてもらって定期的に修繕や改修をかけて、いわゆる大切な施設を長く有効に使いながら、やっていきたいという計画的に行っていくこととなります。業者

と話しをしながらいつの段階でどうやっていくと、それをやることによって費用をおさえる、トータル的な費用を抑えると、ということも併せて、経費の圧縮も含んでやるのが、この計画となります。

（藤原委員）

ということは、教育関連不動産のメンテナンスをより詳しくやるということによろしいんですね。

（中海教育課長）

そうです。

（西川委員）

資料3の町独自の対策に伴うものということで、河南町がいろいろな施策を組んでいたということ非常にうれしいなと思っています。他の市町村ではないものが結構あって、ちょっと話をすると河南町はいいなあという意見も聞いています。1点だけ、お聞きします。新聞見ましたら、毎日各市町村で何人感染したとか出ていて、河南町の新型コロナウイルスの感染者は今のところ、1名のみで毎日ゼロが続いています。仮に1人とか2人とかでたときのシミュレーションについてお聞きします。町の方でどういったことをするのか、例えば大人であればあるいは子どもであればでパターンが変わるかなと思うのですが、仮にあるのであればそのシミュレーションを聞かせていただけたら嬉しいかなと思います。

（辻本総合政策部長）

一般住民の方対象と言うことでよろしいでしょうか。

（西川委員）

はい。

（辻本総合政策部長）

一般住民の方が対象につきましては、保健所の方が全て対応します。保健所と家庭が連絡し合って消毒の仕方、対応の仕方について、濃厚接触者がおられる場合は濃厚接触者が検査を受ける、検査を受けて軽傷の場合、現在はホテルで療養と聞いています。軽傷の場

合は自宅療養という形はなくなっています。町の方は関われないという状況聞いております。

(西川委員)

町に対しても、氏名の公表など一切なしですか。

(辻本総合政策部長)

なしです。

(西川委員)

分かりました。

(森田町長)

今のところ、大阪府から発表されるのは、年代と、お住まいの市町村名と、同居の家族の有無と、軽傷か重症か無症状かと、濃厚接触者があるかどうかで、ホームページ等で公開されます。それ以上のことは公開しないと。ただ、河南町で発生した場合、当然保健所の方は保健所に対応するんですけど、お困りのことはないかと我々も気にはしますので、直接的にお家にお伺いすることはなかなか行くとなるとできないので、保健所を通じて電話などでお困りのことがあるのかないのかなど確認して対応となります。前回発症の方についてはそういった対応をして、特に親戚の方がいらっしゃって対応できているのでいいですよということで、それ以上のことは対応しておりません。

(西川委員)

今、新聞等で話題になっているのが新型コロナウイルス感染による差別や風評被害についてです。特にインターネットで拡散するとどうすることもできないという問題が起きております。だれでも感染するという可能性があります。本人に被害が及ばないように、町としても発信していただければうれしいと思います。

(辻本総合政策部長)

町では新型コロナウイルス本部対策会議というものがあまして部長級以上が入っているんですけども風評被害がでないように注意すると、ホームページでも掲載してるはずですよ。そういった風な、啓発は行っていたはずですよ。もし行っていない場合は、そういった対応もさせてもらったらと思います。

(行待委員)

さっきの西川委員の続きなんですけど、学校で発生した場合はどういった対応とるか決まってるんですか。

(辻本総合政策部長)

学校ではすでにマニュアル作っていただいていますよね。

(湊教・育部長)

まず生徒、保護者に感染が発覚すれば、先ほどの町対応と同じく、保健所の指導にゆだねます。まず3日間臨時休校となります。府対策本部等の方向性もありまして、各市町村は準じます。そしてその3日間に、保健所が濃厚接触者の調査とかいろいろ聞き取りしてどういった範囲で感染拡大があったのか確認のもと、保健所からアドバイスを受けつつ、市町村と協議を行い保健所からのアドバイスを受けつつ、臨時休業を学年とするのか、それとも学級にするのかといった協議をして判断していく。3日間以降に関してはインフルエンザの対応に近いと言う指針は府の方から出されていますので、先ほどの町の対応と同じく、保健所の指導アドバイスに基づいて対応していくと言うような、スケジュール感があります。

(藤原委員)

そのからみで1点、個人的な希望でもあるのですが、新型コロナウイルス感染症対策の日本の政策については言いたいこと山ほどあります。言ってしまうと5時間では終わらぬので。

ほんとに申し上げたいことは去年12月に中国から発症したCOVID-19は半年以上経っているが、どうすれば収束に向かうかっていうことも我々素人にも解ってきてるんです。

まず一番の問題は、一番困っていることとして、日本の法律において、感染症が起こったときは、日本は保健所が采配してから医療機関に送るといった1本のルートしかないが、保健所はパニックになってるんですよ。バートと患者がきて集中して、電話回線さえつながらない、これ実態なんですよ。保健所自体が本来の業務が滞っている、その状況をおそらく国の政策責任者は分かっているんですよ、それをこのまま放置するのは地域の国民の命を軽視するので、厄介な問題だと思います。

法律絡むから難しいのですが、一つの案として、東京の江戸川区では、昨日やってたのですが、北区やったかな、東京の一区が区の判断でPCR検査場を設けると、不安がある方はそれを受けに行くと。それでそこから、医療機関と連携して東京都医師会と連携しながら、どんどん疑わしき患者さんは医療機関に連携すると、流れを作りたいと昨日かな、区長おっしゃってました。

私の希望はですね、河南町には医師会がありません。基幹となる医療機関也没有ありません。個人の開業医院はあります。富田林の医師会と連携していただいて、なんとか河南町で咳が続く方々や、37度近い熱が2日3日続いている方々が、保健所に電話してもなかなか繋がらないと不安で仕方ない。富田林医師会と河南町が連携して、せめて河南町の庁舎一か所ぐらいにテントづくりでもいいんです、PCRの希望をされる方は、検査できますとステーションを構築していただいたら住民の方も子ども達も私達も安心できると前から思っています、可能かどうか審議してほしい。

(辻本総合政策部長)

その件については、東京都の世田谷区の案件と思うんです。昨日町長から私の方そういうことでできないか指示は受けております。ただ、世田谷区の方は医療機関・保健所もありまして、その辺が連携してやっていきたいとニュースかなにかがあった。河南町におきましては、富田林医師会と富田林保健所と各町内の医療機関と連携をもってやっているんですけど、PCR検査することに関しましても医療機関がしなければならないと思います。今後できるかは調査していきたいが、現実としては難しい状況と思っています。東京の医師会の会長もこの際なので法整備もして取り組んでいくべきだとか、色々言われてます。そういったことも期待して研究していきたいと考えてます。

(藤原委員)

私はこの体制作りができたらほんとに河南町日本一だといわれると思うんですよ。残念ながら、悲しいことですが、保健所に断られて熱が出ながら家族全員が重症化したっていう事例がいっぱいあるんですよ、日本全国に。簡単に言うと、救えてないんです。救えてない！これを見て見ぬふりすること自体、町民の命を守る、国民の命を守る、リーダーは自分の仕事をしているのかといたい。国のリーダーの仕事とは国土を守り、国民の命を守ることなんです。それを専門家委員会に任せたりと、場当たりの対応で何か起こったときにふたをする。危機管理の仕事をする人間から見て、統一した見解がない、ほんとに場当たりのです。一般論として、この新型コロナウイルス感染症については。

今後、10年20年の間に違う感染症も出てくると思うが、このことしっかり学びながら、確たるそういうステーションなり、そういう医療モデルを構築していかないと、法律があるからなかなか難しいというのは、じゃあ町民の命を守れなくていいのかとなってしまうので。ぜひぜひ町が先陣きってやってほしい。

(新田教育長)

今日配布いただいた資料2及び資料3みますと教育関連に関して、手厚く予算いただいていることに非常に感謝しております。まだまだコロナ禍はこれからも続くだろうと思うので、町と教育委員会の方で連携しながら対策を進めていきたいと考えています。

その中で、先ほど藤原委員から質問がありましたが、長寿命化計画策定事業これについて、この10年間に渡って学校統合に係って、統合基幹校に対しては集中的に建設事業費を投下いただきました。しかし、その間、他の教育施設の方が手薄になっておるところがあって、特に中学校が手薄な状態で、いろんなところで気になるところが出てます。また、町立大宝地区公民館についても、事務局では常々どうしようかと検討しています。

今回こういう形で、今後その施設をどうしていくのかを計画的に見てこうということで策定費が付いたのはありがたく思っています。

その中で、学校施設に関してはベクトルが明確になるんですが、特に町立大宝地区公民館の施設について、これからどうゆう役割をこの施設に担わすのかというところを固めないと、この長寿命化に対する計画が変わっていくと思います。そのかわりをとると、オール河南町としてこの施設の将来をどういったベクトルをもたすのかも、協議しながら進めていく必要があると考えます。

そういう意味からいうと、町がもっている公共施設の再編計画とか町の施設全体の長寿命化計画これらとも、十分なリンクが必要なので、事務局とも綿密な連絡調整しながら進めていけたらありがたいと思っています。その点よろしくおねがいします。

(辻本総合政策部長)

大宝地区の公民館については、同じ大宝地区にかなんこども園の跡地もございます、そういう跡地利用もございますので、大宝地区公民館と跡地利用と一緒に考えてやっていきたいと考えております。

(新田教育長)

確かに、統合関連でこども園を整備しましたが、旧幼稚園や保育園がほったらかし状態で終わっているところがあります。小学校も跡地利用が明確になった所はいいんですけど。

いろんな施設を、そういう風にリンクさせて、それに併せて整備計画を町として硬いものに作っていければ、ありがたいなと。単独で委員会だけでこなせるものではないので、そのへんはよろしく願いたいと思います。

(森田町長)

長寿命化計画の策定ということで、今回教育委員会の所管する施設だけが出ていますけれど、町の方では3年ほど前に公共施設総合管理計画を策定し、全施設、教育施設も含めて今後どうしていくか、10年間でどうするか、施設自体がかぶっていれば縮小や廃止も含めて全体的な枠組みを持っています。それに基づく個別計画を一つずつ作っていくと、役場庁舎についても長寿命化というか長く使える形でどうやっていこうと。全体として他に、体育施設、運動場や体育館など含めて順番に作っていくと。全体として、維持管理するのにお金もかかってくるので、平準化してやっていけるかということも含めて、全体的に調整しながらやっていくという計画で進めていっています。そういった中で廃止するのはこことここで検討して、集約するものも検討していきたい。中村こども園とか、かなん桜小学校もその集約の一つとして入っています。

(西川委員)

その他にもなるかもわかりませんが、せっかく今日町長さんはじめ、町長部局の皆さんお越しいただいているので、お知らせも含めて、知っていただきたいと思います。

新型コロナウイルス感染によって、これからの私達の生活様式も変えていかなければならなくなりました。それに伴い学校教育も大きく見直す必要が出てきたと思います。

特に教育にかかわって町長さんの方針にGIGAスクール構想を載せていただき進めていこうというのは大賛成です。新しい教育の方向性だと思います。しかし、学校の今の状況についてお話ししたいと思います。実は、学校が毎年作成されている「教育計画」です。近つ飛鳥小学校もかなん桜小学校もきちっと作っていただいています。この教育計画は、河南町の教育大綱と教育委員会からの教育指針を受けて、それぞれの学校が教育目標を作成し、それを具現化するためにまとめられたものが教育計画です。

この内容は、学習指導要領に示された教育課程（教科学習）は勿論のこと、教育課程以外の教育活動もすべて含まれています。すごい内容量で、ぼくも読ませていただきました。それぞれの学校の歴史が積み重なり、学校教育の拠り所となっています。それに加えて、これからは、先ほども話のありましたGIGAスクール構想にあるインターネットを使っ
ての授業や、英語教育の充実・学力の向上も当然進めていかなければならないとなると、学校も先生方もいっぱいいっぱいになってくると思います。他にもこの教育計画の中には

キャリア教育・安全教育・食育教育・防災教育などたくさんの教育課程以外の指導内容が含まれています。本当に先生方も毎日の授業や教育活動で、これだけのものがこなせるかなあと、自分自身の経験も含めて本当に大変な時期をむかえたと思います。

先ほども教育長と話をしていたのですが、学校の先生方は足し算が得意なのです。これもやろうあれもやろうと、毎年の計画が膨れていくのです。どうしても指導内容を削ぐこと引き算が苦手なのです。なぜかという、それはすべて子どもたちためになるという正義が働くからです。このことについては、教育委員会も学校もこの機会に、教育内容を見直す必要があるように思います。

例えば、河南町で行われている人権教育講演会においても、親子で学べるような内容にしたり、町全体で子どもや親・地域も巻き込んだ防災のことを学習できるような機会を設定したりして、少しでも学校教育の手助けになるようにしていただければと思います。

町長部局の皆さんも学校現場の状況を知っていただき、少しでも学校を応援する方法がないか考えていただければうれしいです。

(森田町長)

先生方の勤務時間は、授業しないといけない、他にもいろんな仕事があって事務的な仕事もあれば、授業するためには当然どんなことしようかと予習しないと授業は成り立たないと思います。そういう時間が持てるかというのがすごく私も気にはしております。

その点で、資料2の2番目に書いている、小・中学校ICT環境整備事業の校務支援システムを導入して、学校の先生の事務を少しでも軽減できないかいうことで、今年度の当初予算からついております。

学校の先生の枠は府との協議もいりますので、むずかしい点があると思うのですが、やはり事務的なことを少しでも軽減できたらと考えながら予算をやっていききたいと。

西川委員がおっしゃるように、また行政も同じで、今までの右肩上がり経済成長の時代で予算がどんどん積み上げていっている。そこから低成長でスクラップもしていかないと、全体的な財政が回っていかない、行政が回っていかないという時代になっております。やはり、スクラップするものと、ビルドするものとバランスを見ながら、少なくするものは少なくしないといけない、そういった考え方をしないといけない。

ただ、学校の先生の教育については、人づくりですので、一概にズバット切れるものでもないかと。ある程度先生方でやっていただいて、少しでも改善できるように、それに対して行政でできることあれば支援していききたい。

(西川委員)

一番心配なのは、新型コロナウイルス感染防止に伴う学校休業等により、先生方が子どもたちと関われる時間が減ってきていることです。特に子どもたちとの人間関係を作れる時間が難しくなっていることです。いじめ問題でもなんでもそうなんですけど、最後は先生が助けてくれるという信頼関係がとても大切だと思います。先生と子どもの人間関係が良ければ子どもたちは救われます。

先ほどのお話のありました校務支援システムの導入により、先生方の事務量が軽減される方向はとてもよいと思います。先生方が余裕をもって子どもたちに関わり、良い環境のもとで教育できるように私たちも支援できればと思います。これは教育委員会の課題でもあると思います。町長部局の皆さんもあわせて考えていただければ嬉しいです。

(森田町長)

他になにかございますか。

今回資料3についても、教育委員会を中心にしてますんで、これ以外にも府の休業要請がかかっている事業所への10万円給付もやってまして、これがすごく多くて110件ぐらい予算したんですが、これがほとんど使いきっている、だいぶ個人事業主の苦労が、収入が、仕事がないと、町内でもあるのかと実感として感じてます。

それでは特にないようでしたら、本日の会議につきましては、議題についてこれで終了しますが、次第にその他があります。その他について何かありますか、

4 議題4 その他

<質疑応答>

(一同)

特になし

5 閉会

(森田町長)

ないようですので、これをもちまして、今回の総合教育会議を終了といたします。進行を事務局にお返しします。よろしくお願いします。

(森口秘書企画課長補佐)

ありがとうございました。それでは、これをもちまして、令和2年度第1回総合教育会議を終了いたします。

なお、本日の会議の概要につきましては、運営要綱第8条に基づき、後日、町ホームペ

ージ上で公表させていただきます。

議事録ができ次第、委員にご確認いただきますので、よろしくお願いいたします。

本日は、長時間にわたり、どうもありがとうございました。